

# mono

## CONTENTS

2023.10-16 No.924 ©WPP(禁・無断転載)  
AD・表紙デザイン:若山トシオ  
DTP:ベイス・ナギ  
写真:鶴田智昭(WPP)  
モデル:山下晃和  
協力:川越市役所観光課

【総力特集】シーズン到来! 一度は乗りたい!!

# 走れ、バイクマン!

秋はツーリングのハイシーズン。この季節にこそ、どっぴりバイクにハマりたい! そこで今回は、ロングライドにぴったりのクルーザー、アウトドアが満喫できるアドベンチャー、スタイル重視のネオクラシック、人気の125まで、あらゆるタイプの最新バイク情報とその楽しみ方を紹介する! バイクマンたちよ、風を切って走れ!!

- P16 [PICKUP 1] ロードの覇者「KTM ブラバス1300R エディション23」
- P18 [PICKUP 2] 最高のハンドリング「ヤマハ YZF-R7」
- P19 [PICKUP 3] 鉄馬奮進「ハスクバーナ・モーターサイクルズブーデン901」
- P20 ツーリングでも街乗りでも自由自在「SUZUKI V-STROM 250SX」
- P22 ロイヤルエンフィールドは時の鐘の声を聴くか?
- P24 [PICKUP 4] スオーヴォ ベスパ! 「ベスパGTV」
- P25 [PICKUP 5] 電動オフロードの輝ける星「GOWOW ORI」
- P26 [PICKUP 6] やはりハーレー「ハーレーダビッドソン ローライダーST」
- P27 [PICKUP 7] 待ってたぜ! 400cc4気筒「カワサキ Ninja ZX-4RR KRT EDITION」
- P28 125cc ヤマハではじめるバイクライフ
- P30 新たに動き出したトライク CAN-AM再始動!
- P32 Honda Rebel 250はなぜ売れ続けているのか?
- P34 KATANA Meeting 2023 大盛況レポート!!
- P36 56design LAKESIDE TERRACE オープン!! ライダーたちの新天地
- P38 蘇える英雄 日本モータースポーツの伝説 北野元インタビュー
- P40 『仮面ライダー555』オードバジンを復活!!
- P42 新進バイクライター ウチノ・アミ バイクの本場を見て来ました!  
スペイン&ポルトガル編
- P44 KTM最強のワインディングスター復活!
- P46 気になるバイク6選
- P48 イケ面バイク6選
- P50 気軽! 楽しく使える! 個性も出せる! アジアンバイク
- P52 1/12の名車よ! 最新バイクプラモ
- P54 堅守速攻 最新ライディングウエア&ギア 2023 F&W
- P57 エピローグ

編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。  
掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。  
◎次号のモノ・マガジンは2023年10月16日(月)発売です。

# mono

## CONTENTS.2

2023.10-16 No.924

**【特集】この冬、最強の一着!**.....058

ヘヴィウエア

## 熱く語れ、重衣料

厳しい冬を快適に過ごすために、必須なのが頑丈で動きやすく、防寒性の高いアウターだ。質実剛健な重衣料（ヘヴィウエア）さえあれば、これ一着ですべて事足りる。そこで、ライダーズジャケットを筆頭に、フライトジャケットやワークウエア、フィールドコートにピーコート、そしてデニムジャケットまで、重衣料を一堂に! この冬、最強の一着を手に入れよう。



**【特別企画】シリーズ第11回 お江戸お洒落**

## 武士の小道具「笠」

.....074

文/高山宗東

江戸時代、人びとはちょっと遠歩きをする際には、必ずといってよいほど「笠」をかぶった。陽射しを除け、雨を防ぎ、あるいは顔を隠すという用途も。武士もまたTPOに合わせてさまざまな笠を用いていた。さて武士にとって笠とは? 笠に纏わる物語を繙いてみよう。



**【特集】もっと楽しむ大人のゴルフギア大集合!**

## ゴルフライフ・レボリューション!

.....116

近頃は、日常の趣味感覚でゴルフを楽しむ人が増えている。そんな中、スコアアップと同様に大切なのが、ファッションやギア! そこで本特集では、ハイスペックなウエアやシューズを始め、スタイリッシュなゴルフバッグや小物、大容量のラゲージスペースを誇る実用的なクルマなど、ゴルフライフをもっと楽しむことができる、魅力的なギアを一挙にご紹介!

mono編集部のモノ差し.....	006	ふかさわ人のコレ、ダレが●●したの?.....	110
うーん、うなるモノ.....	010	シロラボ.....	112
ジン・デポ.....	012	新連載! In cucina con Matteo~マッテオのキッチン~.....	130
怪奇骨董新書箱.....	087	モノ進化論.....	134
monoの大捜査線.....	088	モノ・ショップ新聞.....	136
新製品情報.....	102	インフォメーション.....	138
たかみひろしのシネマショウ.....	105	バックナンバーリスト.....	139
今月のもう一杯.....	106	次号予告.....	140
織本知之の電子写真機恋愛.....	108	モノ・ショップジャーナル.....	141

PICK UP  
1

ドイツの高級四輪ブランド「ブラバス」とコラボ

# ロードの覇者

オーストリアのモーターサイクルブランド「KTM」とドイツの高級モビリティブランド「ブラバス」のコラボレーションによって生まれたモデル「BRABUS 1300 R Edition 23」。世界限定290台の超プレミアムモデルをご紹介します！  
文/安室淳一



スポーティでアグレッシブなスタイリングのボディ、その細部にはカーボンパーツが採用され、ラグジュアリーな雰囲気も醸し出している。



1301ccのVツインエンジンを搭載し、パワフルで刺激的な走りを味わえることはもちろん、「レイン」、「ストリート」、「スポーツ」、「トラック」、「パフォーマンス」といったシチュエーションや好みに応じて最適な走りをサポートしてくれるライドモードも備えている。



印象的なヘッドライトマスクは先進のLEDによって夜の暗がりも照らし、エルゴノミクスを考えたポジションやスポーティなエクゾーストノートに奏でるデュアルマフラー、そしてWP製のセミアクティブサスペンションが快適な乗り心地を実現してくれる。

唯一無二の風格を持つスペシャルロードモデル「Ready to Race」を掲げ、ロードの世界で数々の優秀な成績を収めてきたオーストリアのモーターサイクルブランド「KTM」。その後はオンロードモデルの展開をスタートさせ、近年では世界最高峰のロードレース「MotoGP」にも参戦している。そんな常にチャレンジし続けているKTMがまた新たな試みを発表した。それがこの「ブラバス1300 R エディション23」で、ドイツが世界に誇るチューニングメーカー「BRABUS」とのコラボレーションによって誕生した世界限定290台のプレミアムバイクである。KTMのフラッグシップネイキッドの「1290スーパーデュークR エボ」をプラットフォームに、最先端のライディング・エクスペリエンスと妥協のない

エルゴノミクス、そして1301ccのV型2気筒エンジンLC8を採用し、ブラバスの軽量9スポーク鍛造ホイールやスリッポン・ダブルパイプエキゾースト、カスタムメイドヒータードシート、そしてカーライスキームディスプレイ&スタートアップアニメーションといったスペシャルパーツの数々によってラグジュアリーなスタイルへと仕上げられている。さらに最新のWPセミアクティブサスペンションテクノロジーも採用され、スイッチひとつで6つ（コンフォート、ストリート、スポーツ、トラック、アドバンスド、オート）のダンピング設定を行うことが可能な魅力となっている。日本で発売されるのは「スーパーブラック」と「ステルスグレー」の2色合わせて25台。まさにマニアならずとも喉から手が出るほどの超レアな一台。買つか買わないかはあなた次第！

走れ、  
バイク  
マン



ボディカラーは精悍な印象の「スーパーブラック」のほか、エレガントな雰囲気の「ステルスグレー」が用意。共に質感の高い色合いとなっている。



**KTM**  
**ブラバス 1300 R エディション23**  
車両本体価格570万円

- エンジン：水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒
- 排気量：1301cc
- 最高出力：132kW (180ps) / 9500rpm
- 最大トルク：140N・m / 8000rpm
- シート高：845mm
- 車両重量：194kg (燃料除く)

# 時空を超えた旅へと誘う 旧き良き英国からのアウトバウンド

# ロイヤルエンフィールド は時の鐘の声を聴くか？

ロイヤルエンフィールドの放つノスタルジックなフォルムが小江戸と呼ばれる川越のレトロな町並みにマッチするのは温故知新。もしかしたら、ボクは川越街道を気持ちよく旅しているうちに、1901年のニッポンにタイムトリップしてしまったのかもしれない！

写真／鶴田智昭(W.P.P) モデル・文／山下晃和 協力／川越市役所観光課

## ロイヤルエンフィールド HUNTER 350

- 車体本体価格：  
Dapper White, Dapper Ash, Dapper Grey 各65万7800円  
Rebel Black, Rebel Blue, Rebel Red 各66万4400円  
\*写真はDapper Ash
- エンジン：空冷4ストローク  
単気筒SOHC2バルブ
  - 排気量：349cc
  - 最高出力：14.9kW (20PS) /6,100rpm
  - 最大トルク：27Nm/4,000rpm
  - 全長×全幅×全高：  
2100×800×1055mm
  - 最低地上高：150mm
  - シート高：790mm
  - 車両重量：181kg



シート高790mmはそれほど高くないが、タンク近くでシュッとしたエルゴノミクスに基づいたデザイン。よって、かなり足つきがいい。エンジンのクランク部分にもロイヤルエンフィールドの刻印。他にも色々な所に刻印があり、芸が細かい。ちなみに現在はインドを拠点に製造されている。シルバーカラーベースの13Lタンクにティールカラーの縦ラインが入っている品があるDapper Ashというカラー。1番気に入ったのは美しい丸目のメーター。時間等はデジタル表示でありながら、速度表示針のアナログ感。ハンドルにはUSBポートも備えてあるので安心。



単気筒はいいけど、いや、これこそが美しい。  
ロイヤルエンフィールドはイギリスが発祥。実業家のボブ・ウォーカー・スミスさんとフランス人ジュール・ゴティエさんによって、1901年に初のモーターサイクルが製造された。

誕生年のRoyal Enfield Since 1901の刻印が付いているロータリースイッチキープでキュルルッと簡単に着火。スロットルを開けたら、350ccとは思えないほど小気味のいいサウンドが五臓六腑に染み渡る。90年代のトラッカークラッシュの時に流行ったサイレンサーのような「パツパツパツ」という音色が懐かしく、心地いい。車重は数字上181kgとあるが、ハンドリングの軽快さ、切れ角、コンパクトな車体のお陰で、想像を越えてコントロールしやすい。ハンドルに手を伸ばしたや否や「ノーマルですか？」と質問してしまうほど手前にスライドしていて、高身長の人だけの外車ではないとすぐに合点がいく。足つきもいい。今日は旧い町並みにハンター350を置いて写真を撮りたかった。川越までの小旅行。都内から埼玉に向かうトラックと共にトロトロと進んでいたが、ふじみ野市あたりから急に車通りが少なくなり、田園風景が広がり、一気に空が開けた。見上げると、朧雲から透けている太陽が、すりガラスを通してようばんやりと光を放っていて美しい。視点を变えるのは大事だ。モーターサイクルもハ

イテクな電子制御、静粛性、燃費、スポーティ性能などを追求め過ぎてしまったせいで、シンプルなデザインでアナログ的な「モーターサイクルならではの美学」を見逃してはいないだろうか。

単気筒はこれでいい。いや、これこそが美しい。丸メーターにあるオレンジ色の針がスピードと共に左から右へと回転していく健気な姿、銀色に光る楕円形のタンク、余計なものがないコックピット。122年経った現在も、この蔵造りの街並みのように変わらずあつてほしい。

ワクワク感よりも「やっぱりコレだ。」という安堵感を求めている今の気分には、川越の時の鐘の音が旅先としてグッと来る。あのビッグベンよりもね。

# 2023 重衣料の珠玉の最新フライト

本物へのこだわりが  
放つ魅力

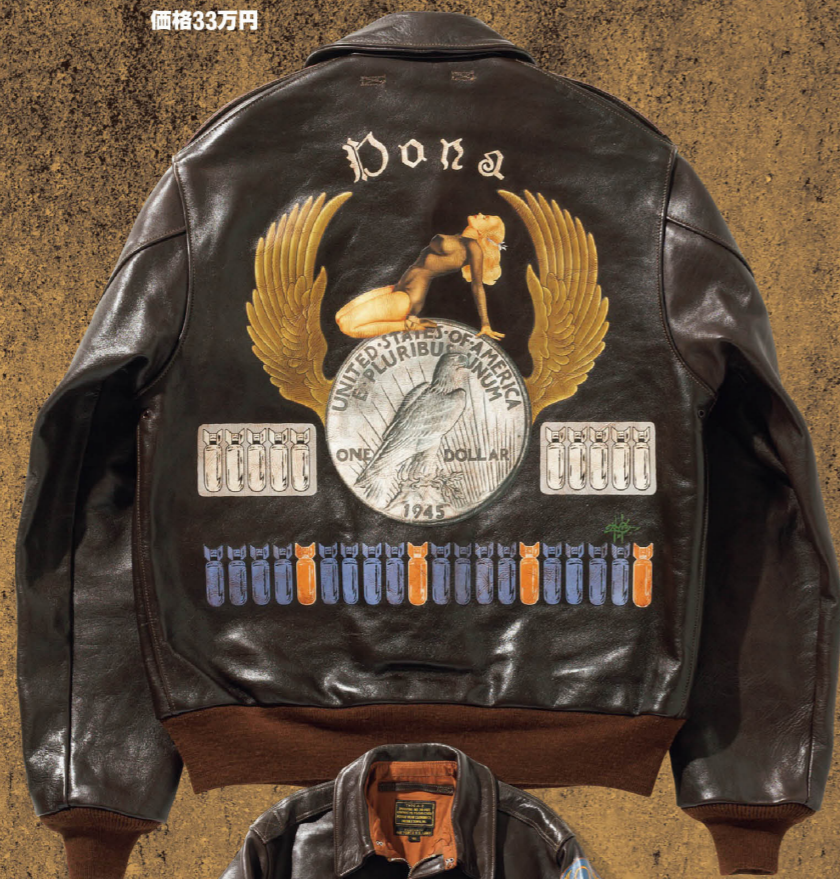
## TOYS MCCOY

トイズ・マッコイ  
〒トイズマッコイストア ☎03-5766-1703

その再現性とクオリティで1990年代のフライトジャケットブームを牽引したトイズマッコイ。ミリタリークローゼットやライダーズジャケットなど幅広い商品展開で知られるが、トイズマッコイといえばやはりフライトジャケットで、これまでに数多くのジャケットを復刻。また実在の部隊をモチーフにしたカスタムや、創設者でイラストレーターの岡本博氏によるバックペイントは多くのファンを魅了してきた。

ここで紹介するのはアメリカ空軍博物館に展示されている実物のA-2ジャケットを忠実に再現したカスタムで、第2次大戦のヨーロッパで戦ったアメリカ陸軍航空隊の第8航空軍第457爆撃航空群第751爆撃飛行隊（457BG・751BS）に所属したパイロットが着用していたもの。モチーフの女性は兵士たちに人気があったピンナップの“バーガガール”で、1ドル硬貨は1921〜35年に発行された通称“ピーススター”だ。またナイロン製フライトジャケットB-15D“マッハバスター”は、冷戦時代に在欧米空軍としてイギリスに展開した第406戦闘迎撃航空群第513戦闘迎撃飛行隊（406FIG・513FIS）がモチーフで、共にトイズマッコイのこだわりが反映されたカスタムとなっている。

Type A-2 Rough Wear Clothing Co.  
8th Air Force “Dona”  
価格33万円



空軍博物館に展示されているジャケットを忠実に再現したA-2“ドナ”。胸のバッチは751BSの部隊章。



Type B-15D Aviator Clothing Co., Inc.  
513rd Fis 406th Fig “Mach Buster”  
価格12万6500円



B-15Dカスタム“マッハバスター”の魅力はカラフルなバッチの数々。写真は左から406FIG、超音速飛行クラブ（マッハバスターズ）、そして513FIS。

熱く重衣料  
ハワイエア

# の 決 定 版 ! ! ジャケット

酷暑続きの夏も去り、そろそろ上に羽織る重衣料のジャケットが気になる季節になった。秋冬シーズンの定番ファッションといえばフライトジャケットが思い浮かぶが、今季も各メーカーが気になるアイテムをリリース。ここではその中からセレクトした珠玉の最新アイテムを紹介していこう。

ワントーンが  
魅力の逸品B-3

## AVIREX

アヴィレックス  
Air National Guard B-3 Flight Jacket  
価格19万8000円  
〒AVIREX新宿店 ☎03-5367-2013

アルファ社と並ぶフライトジャケットメーカーのアヴィレックス。1975年に創設され、軍納入の実績ももつ。同社が復刻したA-2やB-3ジャケットは日本でも人気を呼び、フライトジャケットブームの先駆けとなっている。

アヴィレックス人気を定着させたのは革ジャケットで、なかでもシーブスキンを使用したB-3が憧れの存在だった。それをベースにしたのが今季注目の「エア・ナショナルガードB-3」で、色が最初期型のB-3と同じなのが最大の特長だ。モチーフのエア・ナショナルガード（州空軍）は各州知事の指揮下にある軍事組織で、有事には連邦軍に編入される予備部隊だ。ニューヨーク州空軍は空軍独立の1947年に公式に州空軍となり、これまでに対テロ戦争で海外にも派遣されている。アヴィレックスのエア・ナショナルガードB-3はワントーンの落ち着いたシルエットながら胸、肩、背中にニューヨーク州空軍レザーのバッチを配し、その存在感は中々のもの。

アヴィレックス社エア・ナショナルガードB-3のモチーフがニューヨーク州空軍なのは、今季のテーマが“NEW YORK”をフィーチャーしているため。



ジャケットの胸と背中にサガラ刺繍のアルファ社ロゴと創業年が入る。背面の“MIL-J-8279”は空軍が定めたMA-1のスペック（仕様）。

フライトジャケットの  
優秀選手MA-1

## ALPHA INDUSTRIES

アルファ インダストリーズ  
MA-1 CORE SPEC VARSITY JACKET  
価格2万9700円  
〒エドウィン ☎0120-008-503

各種フライトジャケットとミリタリーユニフォームでお馴染みのアルファ社。なかでもMA-1は同社の定番だ。MA-1は1953年から78年にかけて生産されたアメリカ空軍フライトジャケットで、アルファ社は64年から78年まで空軍に納入した実績ももっている。今季アルファ社の注目アイテムはそのMA-1をスタジャン風にアレンジしたバージョンだ。

スタジャン（スタジアムジャンパー）のルーツは1865年にハーバード大学野球チームが着用した刺繍入りセーターと言われ、そこから“レターマン（優秀選手）ジャケット”や“ヴァーシティ（大学）ジャケット”とも呼ばれている。スタジャンは襟、袖、裾のリブが特長だが、これはMA-1をはじめとするフライトジャケットと共通のもの。スタジャンはウール、MA-1はナイロン製だがスタジャン風アレンジも違和感がなく、かつブルーとガンメタのカラーがミリタリー色をさりげなく主張している。

ストレッチ性能から吸汗透湿、撥水、防寒まで高機能を搭載!

# 機能とルックスで選ぶゴルフウエア

気分がアがるスポーティデザインから到底ゴルフウエアには見えないラグジュアリースタイルまで、ラウンド中に必要な高機能を搭載しつつも、デザイン性に優れた才色兼備なウエアを紹介。イマドキのゴルフはルックスも大事だ!

文/下川冬樹

アンバスイ アンドゴルフ  
シェイププラス パデッドベスト 価格3万6300円  
ターフマスター テーバードパンツ 価格2万4200円



保温中綿が流動的に形状変化しスウィングモーションをフォローするスリムなウオーマーベストに、全方向へのストレッチ性を持ち雨天時のラウンドも安心な耐久撥水性を完備したターバードのパンツ。もはやブレイは天候に左右されない!

©ブラックアンドホワイトスポーツウエア  
☎03-6265-6580

背中に施された  
ラッセルメッシュがキモ

CHARI&CO  
VENTILATED HI NECK SWEATS

価格1万5400円 12月発売予定

ゴルフプレー時の快適な着心地は背中の換気がとくに重要と考えるCHARI&COによる、背中の大胆なラッセルメッシュで通気性を確保したユニークなスウェット。脇下のベンチレーションでさらに換気を加速。襟つき仕様でゴルフ以外でも出番が増える。

©CHARI&CO  
https://www.chariandco.jp/

フロントポケットを内側から絞るとゴルフスウィング時、お腹周りに必要な空間を確保することができる。



ルコックスポルティフ  
ストレッチフォーサー  
フード付きカットソー

価格1万5400円

独自開発のパターンとストレッチ性に優れた素材を採用。カラダの動きに追従してよりストレッチが効くフード付きのカットソーで、とにかくスウィングがラク。前見頃に入った大胆なカーブデザインもスポーティ感を高めてくれる。

©デサントジャパンお客様相談室  
☎0120-46-0310

スポーティデザインも  
ストレッチ性能に自信アリ



胸元にロゴが入っている。ニット糸は厳選メリノウールのみを使用。

フェリージ  
MS MERINO TURTLE NECK KNIT 価格3万7400円  
MS TWEEDY LONG PANTS 価格3万5200円

ラグジュアリーな雰囲気プラスしつつ高機能な上下。高級ニット糸「Biella Yam」のやらかな着心地のタートルネックニットに、伸縮性、保温性、ウォッシュアップとラウンドに最適な機能搭載のツイード調のパンツ。セット買いたい。

©フェリージ表参道ヒルズ  
☎03-6459-2376  
ソフトな風合いと吸湿発熱・保温性に優れたソフトサマーがメイン素材。



これでゴルフア  
の防寒対策は  
万全だ!



ゼロハリバートン  
ハイブリッドパデッドブルゾン 価格4万2900円  
ハイブリッドパデッドパンツ 価格3万1900円

布帛キルトとジャージーによるハイブリッドデザインシリーズのブルゾンとパンツ。布帛にはストレッチ機能と撥水素材、中綿素材には発熱機能を備えたポリエステル粒わたを使用。ゴルフアへの快適な防寒対策を実現してくれる。

©ゼロハリバートン ☎0120-729-007

アンダーアーマー  
UAコールドギア フィットド  
ロングスリーブ モック シャツ

価格7700円

ピタッと肌にフィットし、あたたかさや快適さをキープしてくれるベースレイヤー。カラダの動きに追従するだけでなく、汗をかいても瞬時に吸収、発散するために汗冷えやベタつきなどのストレスがない。レイヤードスタイルにも便利。

©アンダーアーマー ☎0120-106-786

特集 ゴルフライフ・レボリューション!

高機能ウエアの  
素敵な共存



プリーフィング ゴルフ  
メンズハイブリッドダウンパーカ 価格5万8300円  
メンズハイブリッドダウンパンツ 価格4万7300円  
メンズバックパーティカルロゴキャップ プロ 価格8690円  
ツイルイヤーマフ 価格4400円

普段使いでも重宝するスマートシルエットのダウンジャケットとパンツ。両脇や袖、パンツのサイド部分は伸縮性に優れたジャージー素材でスウィングを妨げないストレスフリーな着心地。防寒対策とデザイン性を兼備している。キャップ、イヤーマフも併せてスタイリングしたい。

©プリーフィング 六本木ヒルズ店 ☎03-6434-5922

ラウンド中も保温性抜群のアーバンスタイルで!



佇まいの裏側に  
クッションな  
ウレタンを  
搭載

マンシングウェア  
ニットXGORETEX  
ハイブリッドブルゾン

価格4万6200円 10月発売

表地にニット素材、裏地にはストレッチ、透湿、防風性を備えたGORETEX裏地採用のハイブリッドブルゾン。一見、街着にしか見えないクラシックな雰囲気を残しつつも、ゴルフウエアとしての機能性を兼ね備えているのが◎だ。

©デサントジャパンお客様相談室  
☎0120-46-0310

常に上を目指すゴルフア  
のベースレイヤー



**Publisher**  
今井今朝春  
Keshaharu Imai

**Editor-in-Chief**  
前田賢紀  
Takanori Maeda

**Deputy-Editor**  
関谷和久  
Kazuhisa Sekiya

松崎薫子  
Kaoruko Matsuzaki

**Editor**  
小野正章  
Masaaki Ono

大谷 暁  
Satoru Otani

片岡静香  
Shizuka Kataoka

加藤文晶  
Fumiki Kato

友井健人  
Taketo Tomoi

竹本 泉  
Izumi Takemoto

藪崎 大  
Dai Yabuzaki

**Directing Editor**  
土居輝彦  
Teruhiko Doi

**Art Director**  
若山トシオ  
Toshio Wakayama

**Designer**  
フェイヴァリット・グラフィックス  
favorite graphics

伊藤たまお  
Tamao Itou

**Staff Photographer**  
鶴田智昭  
Tomoaki Tsuruda

青木健格  
Takenori Aoki

**Advertising Director**  
坪井一雄  
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥  
Toshiya Suzuki

上田秀一  
Shuichi Kanda

**Production Director**  
小川俊介  
Shunsuke Ogawa

**Circulation Manager**  
笹川裕史  
Hiroshi Sasagawa

**Print**  
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

**DTP**  
Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノ・マガジンweb に遊びにきてね!  
https://www.monomagazine.com/



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!

https://www.facebook.com/monomagazine1982/

https://twitter.com/monomagazineweb/

スマホでもモノ・マガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

# NEXT

## 次号予告

### 特集

### 巻頭特集

### 総力特集

■うーん、うなるモノ

■モノ進化論

■mono編集部モノ差し

■monoの大捜査線

## いま買う本格自転車

新しい日常での移動手段として、健康維持に、アウトドアブームだから……自転車を求める理由は数あれど、ブームののって手に入れた自転車を買たして、愛着をもって乗り続けるだろうか? 自転車趣味は本来、一生楽しめる奥深いもの。ゆえに「この自転車に乗りたくない!」と思える一台を探すべきなのだ。

流行に左右されない男たちへ

## ちよつと差をつけたい アウトドア

日本初公開のマムートスイス本社取材からトレンドまで!

1963年の創業以来、時代を先取りするモノづくりにこだわってきた京商。そのプロダクトの数々が模型好き&クルマ好きの琴線に触れるのはなぜか? 京商の創業60周年を記念する本特集では歴史の振り返りや最新モデルの紹介はもとより、スタッフの想いやこだわりを徹底取材して、京商製品の魅力を余すことなくお伝えする。

## 祝60周年! 京商大図鑑

『あそびをマジメに。』を貫く、模型メーカーの雄々に肉薄!!

モノ・マガジン11-2特集号 NO.925

10月16日(月)発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

# mono

発行人 ●今井今朝春

編集人 ●前田賢紀

発行所 ●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アズ阿佐ヶ谷

TEL:03(6383)2331 [編集部]

03(5929)7682 [メディアビジネス部]

03(6383)2390 [販売部]

FAX:03(6383)2583 [編集部]

03(6304)9443 [メディアビジネス部]

03(6383)2574 [販売部]

印刷所 ●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

実勢価格は編集部調べの価格です。